三隅広報

発行所　三隅町広報委員会
発行人　稲田正治
編集人　三原祥祐

巣立ちゆく若人を見守り 入学する子らを迎える

―成人 特に保護者各位へお願い―

「仰げば尊しわが師の恩…」―思出の数々をなつかしんで、学窓を巣立つ日が近づきます。長い間わが子の成長を見守りつづけられた保護者をはじめ関係各位の胸中をお察しして萬腔の祝意を表します

しかし人生には卒業はありません　考えて見れば小学校の卒業は中学への入学、中学の卒業は直ちに次の難関に突入するのだから、むしろ今後に大きい問題が山積しているとも言えるのです私はこの機会に卒業生を見守られる皆さまに次のことだけは最適な方策を配慮していただきたいと思います。

卒業者数とその進路

【小学】
学校　宗頭　明倫　浅田　合計
卒業者数　三六　九七　三五　一七三

【中学】
種別　進学　就職　家事　未定　合計
希望　従事　未定　合計
人員　一〇七　三一　一九　一七三

一、子どもの将来の計画は諸条件を正しく評価して早くから家族会議で慎々協議すること

二、中学卒業生は特に健康に留意すること

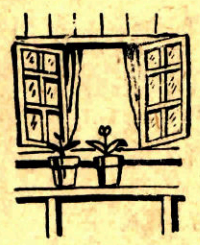
三、友人との交際には一段と気をつけること

四、進学希望者の学校選択は本人の実力を第一に考えて決定し無理をさせぬこと

五、人生の幸福は正しく仂くことにある意味を認識させて就職、自家経営に大きい希望を持たせること

次に入学生の保護者におよろこび申上げます。

教育長　中野四郎

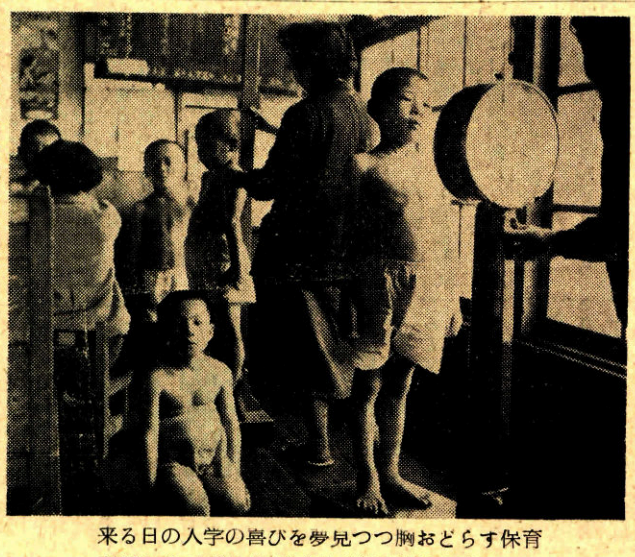


俳句

二月分
清風句會

紅梅の一輪添えし便りかな　季子
梅一枝活けて見合の客を待つ　しげる
師も弟子も今日は和服の針供養　一平
病床にせめておみなの針祭る　里子
寒灯の一つ残れる終車駅　たけし
暖多に慣れし余寒の身にしみる　くわ牛
ストーブの暖にさをわれ梅二輪　旬一
針供養女工ばかりの授産場　一二美
寒紅梅咲くや長者の屋敷跡　元
針供養ミシン踏む娘も華休み　蓮水
亡き人の形見の梅の今日咲きぬ　九重
我が家の生計助けし針祭り　智
針供養若き昔を偲びつつ　無名女
夏みかんたわわに隠居無声女
忌　磊磊
還暦や娘は良縁の春著縫う
今年亦梅花はころび無声女忌　雲仙

三月分の兼題は梅、春たつですから七日迄に住所氏名記入の上七句以内公民館え提出して下さい。



来る日の入学の喜びを夢見つつ胸おどらす保育所児たちの身体検査風景（野波瀬保育所にて）

申告納税

いよいよ2月15日至3月15日まで確定申告と納税の時期となりました。納税者の皆様の便宜を計るために3月1日より今月15日まで町で申告相談並申告指導をいたします。是非申告を終へ納税を期限内に済せましょう。

申告指導日は各納税者に御通知

三月一日 三月卅一日 緑化運動

昨年四月防府にて天皇御製に
〝木を植うるわざの年々さかゆくは
うれしきことのきはみなりけり〟

緑化行事はじまる

長期緑化運動……各家庭一本を目標に三月一日より三月三十一日まで都市農山漁村挙げこの一大県民運動として盛大に展開される此の運動も今年で第七年目を迎え特に昨年度に於て天皇皇后両陛下をお迎えして防府市で盛大な国土緑化大会並びに植樹行事が行われる等遂年多大な成果を収めている。

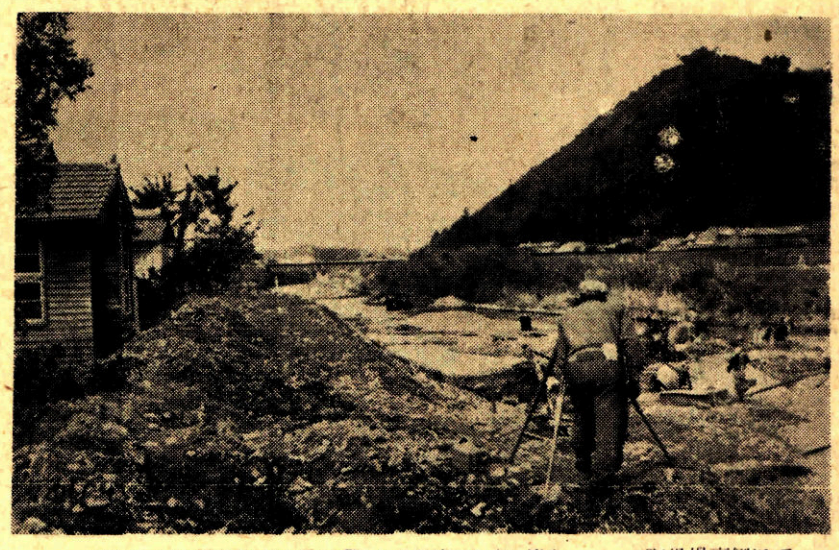
趣旨は森林資源を培養し国民経済の安定に寄与し国土保全、水源の涵養をはかり生活環境を改善するため、都市、農山漁村相携えて郷土を緑化するものである。

（緑の羽根募金運動）郷土緑化の緑の羽根、目標二七〇万円「緑の羽根二十二万本緑のバッチ、十一万個につき三月一日から三十一日までの、一ケ月間実施される、三隅町の割当として緑の羽根一、九〇〇本、バッチ、九五個これは森林面積三〇%世帯数割七〇%を以て割当の基準となつてゐます。募金の使途については

（1）募金の費用（2）市町村の緑化推進（3）学園緑化推進（4）学校及青年団植林推進（5）緑の羽根記念林の造成（6）主要都市街地緑化（7）工場鉱山地帯緑化（8）観光地緑化（9）緑化啓蒙宣伝等に使用されてゐます。

尚三隅町としても此の緑化行事、緑の羽根募金は中学校生徒に依頼し各家庭に一本を目標としてゐますのでよろしく消化に御協力下さいます様御願いいたします。

林務課



―てに側裏場役町―　む進「事工岸護川隈三」れかた免から害水の多

家畜もどうぞ共済組合へ!!

牛や馬やめん羊、山羊等の家畜は使役の途中あるいは、私達のわずかの不注意から怪我をしたり病気になつて治療の甲斐もなく殆亡したり役に立たなくなつて売らなければならないような思わぬ損害を被ることがよくあります。こう云つた万一の場合に備えて大切な家畜は必ず家畜共済へ加入さして置きませう。家畜共済について概略を説明します。

この共済はわかりやすく云つて私達の生命保険と健康保険とを一緒にしたような仕組になつている共済で掛金をかけて加入すると病気や怪我をして獣医師の治療を受けても国がきめた一定の限度までは無料で治療がしてもらえるし、万一死亡したり役に立たなくなつて売つた場合でも当然共済金が受けられますたとえば普通の牛を三万円の共済に加入さすには掛金が年四五五円になりますが、これをかけて加入するとその翌日から満一箇年責任を持ちますのでその間万一死んだり役に立たなくなつて業者に売つた場合は三万円若しくは売却代を差し引いた残額を支払いますし、病気や怪我をして治療を受けても治療費が一、四〇〇円までなら無料それ以上になりますと一、四〇〇円を越える額だけ負担していただくことになつていますが、不幸にしてその家畜か二、三箇月後再び病気や怪我をしてもまた一、四〇〇円までは無料で治療が受けられることになつています、この共済の事務は共済組合がとり扱つていますので不審の点がありましたらよくおたずねいただき、大切な家畜ですから是非共済に入れて置くようにいたしましょう。

有難う御座居ます 予約米完納

昨年は全国的には戦後二年続きの豊作であつたとの事ですが何分にも山口県としては北海道に次ぐ被害県であつたと云ふ事は山口県農家としては誠に不幸の年であつたと云はざるを得んのであります。斯様な被害に依り最初予約して戴きました三、五五九石四斗に対し四〇二石三斗の減額申請が出まして町御当局は是れを県に申請されました処県は是れを認め改訂予約数三二七石九斗は本年の二月十一日に完納致しました。こうした被害を受け結実不良の米を何回も米選機にかけそうして規格米を拵らへ自分には屑米を食べてまでも供出完納して下さいました農家の皆様に対して集荷責任をもつ農協として厚く深く御礼を申し上げる次第であります。

靖國神社奉賛會勧募金

本町では靖国神社勧募金を遺族会には遺族会員を対象で三隅町支部では婦人会の万々に依頼して町崇敬者にこれの勧募方御協力を煩し崇敬者各位の絶大なる御理解により左記の通り勧募金を靖国神社奉賛会山口県支部宛納金致しましたので勧募に御協力下さいました婦人会の方々並に提出下さいました皆々様に紙上を通じて厚く御礼申上げ結果のお知らせと致します。

◆勧募金額　一三九、八八五円
内訳
金一〇〇円以上　三件　三〇〇円
金五〇円以上　三件　一五〇円
金一〇円以上一〇〇円未満　四〇件　一六、五〇〇円
金一〇円未満　四〇件　三、八五〇円
附　三隅町遺族会の勧募金も算入してあること

靖国神社奉賛会三隅町支部

吉（凶）

十二月二十一日から二月二十日まで

十二月出生数　三名
一月　出生数　一四名
二月　出生数　一〇名
十二月死亡者　六才
野波瀬　石津眞治
一月死亡者
小島　山村フデ　七

二条窪　井口智恵子　一
広田　村田里吉　五
宗頭　伊藤栄八郎　三（戦病死公報）
上ゲ　国光ヨシ　九
宗頭　田中吉蔵　八
小島　田中ショ　五
二月死亡者
豊原　白藤嘉枝　六
土手　田原美津江　一
兎渡谷　森清研二　四
野波瀬　中島安治　六
沢江　村田テル　六
野波瀬　北村三蔵　五
室生　藤田十右衛門　九
一月婚姻届出数
五四件
内本町役場受付　一一件
町外市町村受付　四三件
二月婚姻届出数
一四件
内本町役場受付　九件
町外市町村受付　五件

早めに申告……所得税確定申告期限は三月十五日

青年学級!! 青年學級!!

町民運動……お互挨拶と人に親切をー

これからの農漁村人の生きる道は、農漁業の近代化と農漁村生活の民主化への道につながっているが、この道を拡き建設していくことには、大きな努力を必要とするものである。しかもその推進力となるものは、近代的な科学知識と合理的な精神とを身につけた実践力のある青少年の手にあるのである。

かかる新しい農漁村の推進力は、よりよい仂きかたを求めて、不断の努力をくり返す外にはうみ出しえないものである。仂きと学びということが学級では常に相互関係をもっていなければならない。科学知識も其れが単に知識として、頭の中にしまいこまれているものであるならば、如何に豊富な知識をつめこんでみても、何の足しにもならない**知識**は現実の生活を高めることに役立つように学びとらなければならない。学習はあく迄も農漁村の生活そのものの中に凡ての素材がある。その素材は同時によい教材として、整理され、再び生活の中に還元されるものでなければならない。

そこで青年学級はこの町をいかによりよくつくり上げて行くかということ、我家を如何にして明るい家庭にするかということ、お互が人間らしい生活をして行くにはどうしたらよいかとか、よりよい人生を求める若人達の求道の場所なのであるから、学習上不断に創意工夫の加えられる場所であることを強調して入学されることを心から念願している。

終りにこれ等の青年の自主的活動としての勉学に、父兄の皆様の理解ある御協力を御願いし、慈しみ深い長い目で見守つて下さることを切望している。

過渡期に立つ青年学級

来る四月から第八年目の新しい学級が出発するのですがここで、私達は、青年学級や団活動を振り返つて、反省し今后の活動に備えなければなりません

近年上昇線をたどつて来た青年学級も、一つの転換期を迎えております。今迄は間口を広げ過ぎて課題の内面の深さを忘れ、又学級生の年令の差から来る考え方を無視した教科内容や、実生活に掛け離れた内容等地域によつて多少ならない。

そこで青年学級はこの町をいかによりよくつくり上げて行くかということ、我家を如何にして明るい家庭にするかということ、お互が人間らしい生活をして行くにはどうしたらよいかとか、よりよい人生を求める若人達の求道の場所なのであるから、学習上不断に創意工夫の加えられる場所であることを強調して入学されることを心から念願している。

終りにこれ等の青年の自主的活動としての勉学に、父兄の皆様の理解ある御協力を御願いし、慈しみ深い長い目で見守つて下さることを切望している。

義務教育六年を終え小中学生は何を考え如何にせんとしているか?

九カ年

三隅中学校三年　香月敏子

義務教育九ケ年。その九年目を、今まさに、私は終えようとしている。小学校入学当時は、数を十まで数えるのがやつと、その他は何一つとして知らなかつた。それを、先生や両親の愛情に包まれて、いろいろな思い出を残し、やつと小学校の六年間を終えたのだ。次いで、新しい気持と希望に胸をふくらせて中学校に入学した。そこには、小学校に味わえなかつた多くのもの一例えば、生徒会の活動やクラブでの学習が待つていただが、もう三年目の最後の学期を迎えてしまつた。今、その過去を振返つてみると、私の心の大きな変化に気付かずにはいられない。小学生の頃は、甘えん坊の無鉄砲であつたし、中学生になつて一年も二年の時も、いや、三年の中頃までは、おしやべりで、出しやばりで、勉強には全くそつぽを向いていた。やがて課外授業が始まり、ア、テストや就職試験が目前に迫ると勉強しなくてはいられない気持にも、立場にもなつてしまつた。でも、今の社会に生れた人間が当然しなくてはならない義務ではなかろうか。

友だちの中には、更に進学を希望している人もあれば、社会の現実の中に第一歩を踏み出そうとしている人もあつて、それ〳〵異つた抱負をもつて、残り少なくなつた義務教育の課程を有意義に送ろうとしている。私の心の中にも「もつとしつかりして最後のベストを尽さなければ…」という言葉が、私を鞭打ち、さとすように迫つてくるのだ。

六年になつて学校代表になつたがそれもまた全力をつくして仂かなかつたように思う。だけど僕は六年の受持の先生にしつかりきたえられたので中学校へ行つてもはじのないような学校生活をしようと思う。

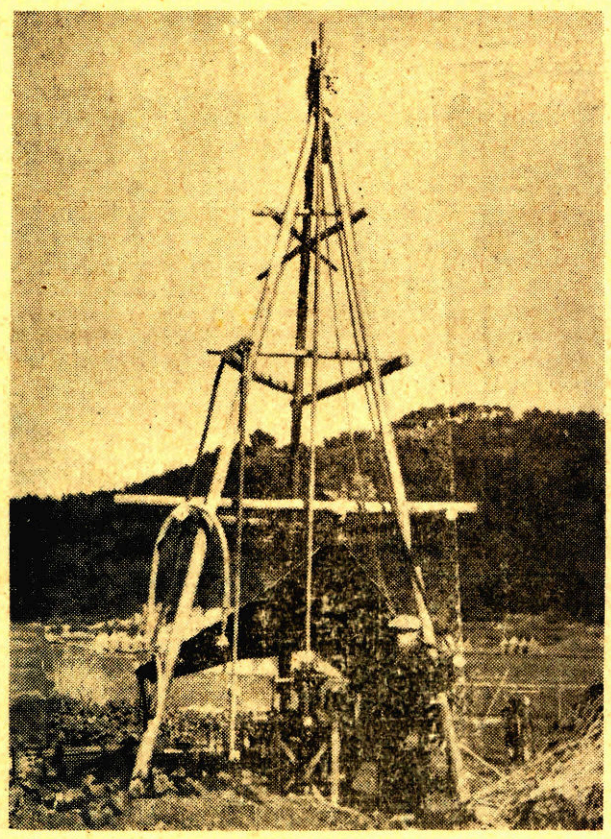
義務教育六年を終え小中学生は何を考え如何にせんとしているか?

宗頭小学校六年　小林幸太郎（樅ノ木）

いよいよ小学校とも別れ、この六年間をふりかえつて見ると母に手をひかれて、小学校へ入学したのは、たつたこの間のようであつたのに、もう六年間は夢のように過去りすぐこの学校ともわかれなければならないと思うと何か、淋しいが、中学生だという、決心をあらたにしました。何もわからない僕が、先生のおかげでこんなにまでしていただいたと思うと、なにか目上が厚くなります。あのおそろしい十五号大風でていぼうが切れて、学校が水びたしになり家庭室の畳も廊下も講堂もどろんこになり運動場も運動道具も皆ながされて終つた時には先生も生徒も皆な暗い顔であつたが、青年団や先生や生徒が毎日の作業でたちまち元の学校になり、図書室も元より立派になりました。けれども僕たちは、六年間の学校生活ともわかれるのだと思うとあの教室があの机やいすが名残惜しくなり、もつともつと大切にしてやればよかつたと思います。「あおげばとおとし」のあの歌、思い出は次から次えとつきない。しかし中学校に進学出来ると思うとまた、うれしい。僕は「少年よ大志をいだけ」の志を胸に小学校にわかれをつげます

浅田小六年　河野すなは（沢江）

昭和二十七年さくらの花のさいている学校へ、私は楽しく一年生にあがりました。それがついこの前のことのように思います。今静かに過ぎ去つた後をふり返つて見ると、ある時はお友達に泣かされ、ある時はともにさわぎ、ある時は勉強に泣いて、もう卒業の式も目の前にやつて来ましたが、よりよい仂きかたを求めて、不断の努力をくり返す外にはうみ出しえないものである。仂きと学びということが学級では常に相互関係をもつていなければならない。科学知識も其れが単に知識として、頭の中にしまいこまれているものであるならば、如何に豊富な知識をつめこんでみても、何の足しにもならない**知識**は現実の生活を高めることに役立つように学びとらなければならない。学習はあく迄も農漁村の生活そのものの中に凡ての素材がある。その素材は同時によい教材として、整理され、再び生活の中に還元されるものでなければ



（石灰25日を見るロクローホーンの先端氷漏斗湯

級學年青隅

（内容）
- 開設場所ー町公民館及各分館（野波瀬、宗頭、浅田）
- 開設期間ー一ケ年（六月、十月の農繁期休業）
- 入学資格ー町内に居住する勤労青年（十五ー二五才）
- 予算ー町費なるも月謝として和裁科洋裁科は各一〇〇円
- 機工科家庭科は材料費若干

（運営実施）運営委員会にて決定

- 人間形成（対内的育成）
  - 職業（経営と技術）
    - 農業科ー経営及技術の基礎及実際（グループ活動）
    - 林業科ー同右
    - 水産科ー漁ろう航海加工及水産経営の合理化
  - 一般教養（未熟より成熟へ）
    - 社会科ー法律政治歴史時事問題経済倫理哲学其他
    - 理科ー珠算簿記数計法の基礎及経理常識
    - 機工科ー三輪車操縦応急修理各種発動機取扱修理
    - 習字科ーペン字、毛筆の書方
    - 芸能科ー鑑賞音楽理論の基礎各種楽器の使用法
  - 家事（生活改善と技術）
    - 家庭科ー料理、衛生、生活改善、生花、茶道
    - 和裁科ー講義と裁ち方縫方の実習指導
    - 洋裁科ーデザイン、裁断と実習指導
- 社会形成（対外的生産関係を豊かにする方向へ）
  - 実態と世論調査ー青年の悩み調査、生活実態調査、地域社会の社会調査
  - 機関誌発行ー年三回
  - 事業行事の主催協力ー成人式、物産共進会、公明選挙推進、討論大会、体育大会、町民体育会、レクレエーション、病虫害防除、地域環境浄化整備
- 方法
  - 共同学習、グループ学習、集団聴取、鑑賞、観察、批判座談会、研究並に意見発表会、討論会、プロジェクトメソッド、講義、ゼミナールデモンストレーション（実地学習）
  - 集団討議
    - プライベート討議法
      - インフォーマル討議（円卓会議）
      - 委員討議
        - コンファランス討議（色々の団体によつて任命された代表者構成）
    - パブリック討議法
      - フオーラム（公開討議）
      - パネルフオーラム（陪審討議）
      - レクチュアホーラム（講演質問意見）
      - バスセッション（予備的な全員討議）
      - ロールプレイング（役割をもつて活動）

協力
- 連絡団体
  - 公民館運営審議会
  - 青年団
  - 四Hクラブ
  - 青年水産研究会
  - 婦人会
  - 婦人講座
  - 生活改善クラブ
  - 成人講座
  - PTA
- 利用ー三隅広報

【学習活動の一例】

（綜合討議）問題の把握（グループ学習）（構成活動 劇化活動）
（討議活動 見学活動）（報告）
問題ー話し合いー目的活動……問題解決ー評価
（グループ討議）問題の分析（分担研究）（個人研究）調査活動 講義 マスコン 読書（実践団体活動）